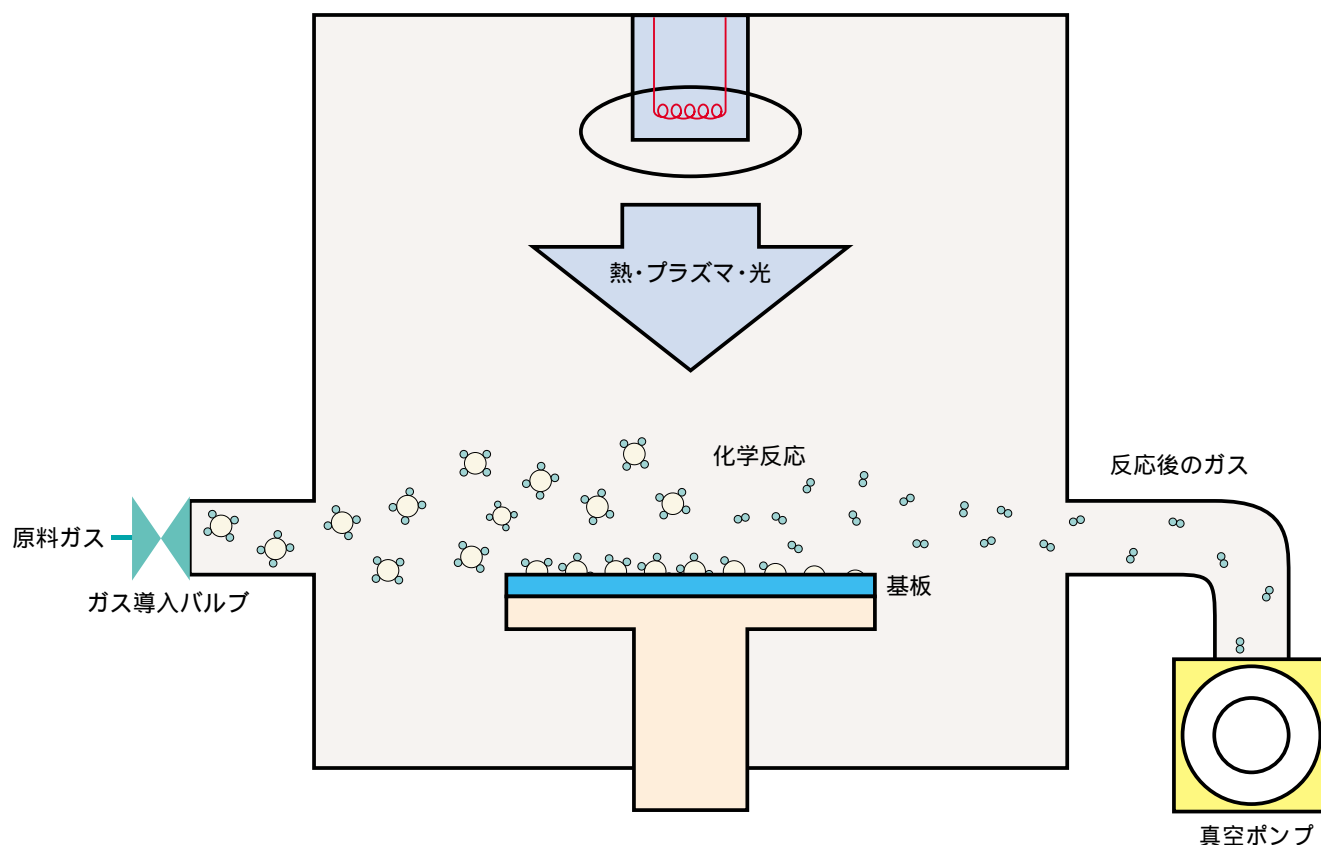


薄膜の作製法

化学蒸着法(CVD)



化学蒸着法(あるいは化学気相成長法)は、薄膜の構成原子を含む化合物ガスを反応容器に導入し、化学反応を利用して目的の組成の薄膜を作製する方法です。原料ガスは、さまざまなものが用いられますが、有機金属化合物ガスを用いるものはMOCVDと呼ばれています。化学反応のためのエネルギーとしては、熱(抵抗加熱、赤外線ランプなど)、プラズマ(直流、高周波、マイクロ波など)、光(紫外線ランプ、レーザなど)が代表的なものです。